

令和 7 年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立築港小学校

令和 7 年 4 月

## 大阪市立築港小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

本市調査における「学校から帰ってから、スマートフォン等を使用して、平均でどのくらい SNS、動画視聴、ゲーム等をしていますか」に対して 3 時間以上と回答する児童が 60.9% から 46.2% となり、ノーメディアウィークや学校保健委員会での保護者への啓発の成果が表れた。

本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童が 84.6% であった。大阪市平均 97.0% と比較すると、本校の課題と言える。

小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合が、令和 5 年度は 79.2% であり、令和 6 年度は、84.5% と上回った。

経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が、令和 6 年度は 71.6% であり、令和 5 年度の 83.3% を下回った。

令和 6 年度の全国学力・学習状況調査の国語科の平均正答率の対全国比は、0.89 であった。令和 6 年度の小学校学力経年調査では、国語科 5 年生は市・全国の平均を下回ったが、4 年生と 6 年生は市・全国の平均を上回った。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査で「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、令和 6 年度は 65.1% で令和 5 年度の 74.9% を大きく下回った。

授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、令和 6 年度は、年間授業日の 76.9% であった。

第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合が、令和 6 年度は 75% であり、令和 5 年度の 56% より大幅に上回った。

経年調査の「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合が、令和 6 年度は 68.4% であり、令和 5 年度の 70% をわずかに下回った。

学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にいる活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が、令和 6 年度は 97% であり、令和 5 年度の 87% を上回った。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

スマホの危険性や適切な使い方について理解している児童を 86% 以上にし、健康被害、ネットいじめや犯罪被害、個人情報の流出、炎上やトラブルへの巻き込まれることのないよう未然に防止する。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

誰一人取り残さない学力の向上に向け、個に応じたきめ細かく継続した指導・支援を充実させ、今後 4 年以内に、全国学力・学習状況調査での平均正答率の対全国比を 1.00 以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

授業日において学習者用端末を毎日使用し、児童の心の状態や日々の生活の状況を可視化し、子どもの理解を深めるとともに、いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を行う。また、学校図書館などの学校施設の充実・整備を進めたり、地域、保護者と連携を深めたりしながら、地域全体で子どもたちを見守り、子どもたちの健全育成を図る。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

**【安全・安心な教育の推進】**

○学校アンケートにおける「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86% 以上にする。

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 86% 以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 67%以上にする。

○学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70%以上を維持する。

○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（1 か月の時間外勤務時間が 45 時間を超えない。及び 1 年間の時間外勤務時間が 360 時間を超えない）を満たす教職員の割合を 76%以上にする。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 69%以上にする。

○学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒に行う活動が好きです」に対して、肯定に回答する児童の割合を 90%以上で維持する。

### 3 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立築港小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</b> ① 本市調査における「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。 <b>(令和 6 年度 84.6%)</b> ② 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 86%以上にする。 <b>(令和 6 年度 84.5%)</b>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</b> ・本校児童がスマホの適切な使い方について理解しているかを把握するアンケートを実施する。 ・年 1 回情報モラル教育を実施する。 ・毎月ノーメディアウィークを実施する。また、学年だよりによりスマホの使用時間や使い方を掲載し、保護者に発信する。	
<b>指標</b> 学校アンケートにおける「スマホの危険性や適切な使い方について理解していますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。	
<b>取組内容②-1【安全・安心な教育環境の実現】</b> ・「いじめ・いのちについて考える日」や「いじめアンケート」の実施、またスクールカウンセラー、校長室のなんでも相談室、スクールライフノートの相談機能、児童の困りごとに対して様々な選択肢を準備し、いじめの未然防止、早期発見につとめる。 ・「いのちの安全教育」の出前授業を実施し、自分の存在を大切にできるよう取り組みを行う。	
<b>指標</b> 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「とてもそう思う」と回答する児童の割合を 86%以上にする。 <b>R6 年度 84.5%</b>	
<b>取組内容②-2【豊かな心の育成】</b> ・道徳教育、キャリア教育の充実や異学年との取り組みを通じて、自己肯定感・自己有用感の向上に努める。 ・「いいところみつけ」「幸せ宝箱」の実践を通して、自分の良いところに気付かせる。 ・歌集を用いて、音楽の時間や、すきま時間などに歌を歌う機会を設けることで、豊かな心の育成を目指す。	
<b>指標</b> 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 73%以上にする。 <b>R6 年度 71.6%</b>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

## 大阪市立築港小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ① 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 ② 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 67%以上にする。 <b>(令和 6 年度 65.1%)</b> ③ 学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。(新しい取組)	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【誰一人取り残さない学力の向上】</b> ・始業前の反復学習の取り組みを通して、基礎学力の定着を図る。 ・子どもが本に興味をもち、読書を習慣づけるための環境づくりをする。	
<b>指標</b> 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。	
<b>取組内容②【健やかな体の育成】</b> ・集会・運動委員会を中心に集会の時間や休み時間に全校児童で体を楽しく動かす機会を設け、運動することが好きな児童が増えるようにする。 ・なわとびタイムやかけあしタイムを設け、体育施設・体育用具を活用して運動を行う習慣を身に付けたり、進んで体力づくりに取り組んだりする機会を設ける。 ・芝生を定期的に整備し、休み時間などで児童が安全に遊ぶことができるようにする。	
<b>指標</b> 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「とても好き」と回答する児童の割合を67%以上にする。 <b>(R6 年度 65.1%)</b>	
<b>取組内容③【健やかな体の育成】</b> ・歯みがきカレンダー、歯みがき強調週間、健康週間の取組の継続。 ・健康週間(ノーマディアウィーク)にも、歯みがきの欄の振り返り視点(歯がつるつるになっている)等を取り入れ、ていねいな歯みがきにつながるようにしていく。 ・歯垢染め出しを全学年に実施し、「磨いた」から「きれいに磨けた」への歯みがき力のアップにつなげていく。	
<b>指標</b> 学校アンケートにおける「歯磨きの大切さがわかり、朝・昼・寝る前にていねいに歯を磨いている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
後期への改善点	

## 大阪市立築港小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> ① 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70% 以上を維持する。(事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) <b>令和 6 年度 76.9%</b> ② 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 76% 以上にする。 <b>令和 6 年度 75%</b> ③ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 69% 以上にする。 <b>令和 6 年度 68.4%</b> ④ (令和 7 年度の) 学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88% 以上にする。 <b>令和 5 年度 87% 令和 6 年度 97%</b>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</b> ※8 月以降、タブレットの持ち帰りを推進していく。(市教委方針) ・「心の天気」を毎日入力し、指導者や児童が授業内で積極的にデジタル教材を活用し、ICT 活用を習慣化できるようにする。 ・1 人 1 台端末利用状況の「見える化」に努める。	
<b>指標</b> 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 70% 以上を維持する。(事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く) <b>令和 6 年度 76.9%</b>	
<b>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ・会議等の精選、週 1 回のゆとりの日の設定、スクールサポートスタッフによる業務削減、午後 5 時半に留守番電話設定をすることにより、時間外勤務の時間を削減させる。相談タイムを有効活用する。	
<b>指標</b> 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 76% 以上にする。 <b>令和 6 年度 75%</b>	
<b>取組内容③【生涯学習の支援】</b> 児童たちがいきいきと読書に親しめるよう、昼休みの学校図書館開放を実施。また、学級文庫を月に 1 回程度設置し、読書環境の充実をはかるとともに、図書委員会やお話会のボランティアによる読み聞かせなども行う。	
<b>指標</b> 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合 69% 以上にする。 <b>令和 6 年度 68.4%</b>	
<b>取組内容④【家庭・地域等との連携・協働した教育の推進】</b> ・地域の方と連携をとり、計画的に活動を実施する。(地域の文化や伝統を共に学ぶ) 1 年・・・学習園(ヒマワリ)と植木鉢植え(アサガオ) 2 年・・・学習園(サツマイモ)と植木鉢植え(ミニトマト)、町たんけん、芋ほり 3 年・・・水上消防署見学、海遊館見学・アカデミー、そろばん教室、(着衣泳) 4 年・・・そろばん教室、(着衣泳) 5 年・・・たまねぎ収穫、着衣泳、伝統文化、サンタマリア号乗船 6 年・・・たまねぎ収穫、着衣泳 全学年・・・参観、引き渡し訓練、懇談会、築港らんらんらん、運動会、みかん狩り	
<b>指標</b> 学校アンケートにおいて、「地域の人と一緒にを行う活動が好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90% 以上で維持する。 <b>(R6 年度 97%)</b>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
後期への改善点